

## ハッピー・マネー教室参加者（大人）からの声

——今日は貴重なお話ありがとうございました。子供たちのアンケートを読んで、たった1回の授業でこんなにも気づきがあるのだなと感動しました。予防接種ではないですが、一回で効力発揮なら、ぜひたくさんの子供たちに聞いてもらいたいですね。

——岡本先生の『子どもにおカネ・投資をどう教えるか』に参加(＾)｡。中学校や高校での出張授業の反応を交えながら、お金の存在価値や存在意義を考えさせられました(＾)｡。参加者の皆さんも錚々たるメンバーでいろんな視点で参考になる点がたくさんありました(＾)｡。ピギーちゃんをお客様宅に持って行って何から話そうか今から楽しみです(＾)｡

——教育の本質的難しさは、親より子のレベルを上げようとする事だと思っています。親と同じレベルなら親が子に教えればいいが、親を越えて欲しいなら、親の理解の及ばない知識を子に与える必要があります。明治以降の日本では、子は親より頭が良くなるような教育をしてきたといえますし、ある意味、子を通じて親を教育するところも、学校教育のねらいのひとつだったと思われまふ。おそらくマネー教育もそれは同じなのかなと感じました。親が投資未経験で子に投資を教えられるはずはないでしょうし、寄付もまた同様だと思います。このとき、「親自身が学んで、子を教える」アプローチと、「教育の仕組みが親も知らないことを子に教える」アプローチの双方が重要なだろうと思います。マネー教育は奥が深くて楽しい領域だなと思います。私も何度か話して、生徒も満足し、自分も満足を得られるところに喜びを感じます。今後ともよろしくお願ひします。

——今夜はとても有意義な時間をありがとうございました。今日の印象に残ったことは、DONATEを『ゆずる』と表現し、寄付は思いやりをあげることと先生がおっしゃった事です。それはお金ばかりではなく、時間や体力も寄付できるという事。『一日一善』を思い出し意識しようと思いました。そして『世界が我が家』という事も印象的でした。そうなるとみんなが自分の子ども。私は子どもの金銭教育を早く進めるには、大人からだと思つて30代のファミリー層が中心の家計相談をしています、ピギーちゃんの反応が今から楽しみです(＾)｡。本当に貴重な機会をありがとうございました!

はじめて参加させていただきました。先日、岡本様と面談させていただいた際に、サワリを教えて頂いた内容だったので、大変面白く拝聴いたしました。しかし、投資雑誌を作っている側からすると、なんとも本質的な話題でした。「こどもに教えるということは、自分が分かっているということである」つていうことを、改めて思い知らされた気がします。

——本日は価値ある「お話」をありがとうございました。まず驚いたのは、学生さんたちの「感想文」の質の高さ。独身なので想像もつかなかったのですが「理解力も記憶力も話をまとめる力も優れていること」におどろきました。「舐めていた」のは自分であると・・全くもつて反省しております。このような「教育」が通常行われれば、まさしく「ただ、親と先生に言われているから」の勉強ではなく、「自分の将来への投資」であり、「自分の中にある“宝石”」に気が

つくのでしょうか。独身者の自分、今すぐに何ができる、というわけではないのですが、少なくとも「大人が真面目に学び、次に、自分の子供たちにそれを伝える」場への貢献ならできるはずなので、自分の地元で「地道にそういう場を創る」事を創めたばかりです。「子供は教えさえすれば、どんどん吸収する、そして知る機会を求めている」「その場を創り出すのは大人の責務である」 結婚すらしていない自分が言うのはおこがましいのですが、それでも「大人として、出来る事をせねば」と。ありがとうございます。いつまでもこのような「教育」をお続けになって頂ける事、心底より願っております。

——今日はありがとうございました。ほぼ毎日接していてもっとも身近な存在でありながら、価値や意義、あるいは付き合い方を語ったりシェアすることのない「おカネ」。「カネ」というと汚いイメージを受けてしまいがちですが、ほんの少しでも「おカネ」について話し合ってみることで、社会との関わり方に意識を持つことで生きる自信につながるのではないかと感じました。週末に家族でおカネについて話してみようと思い、ブルーのピギーちゃんを買いました。娘の反応が楽しみです。投資とかの時間軸の概念とかが掴みにくそうであれば、spendを消費と浪費に分解して、日頃の使い方を調べてみるのもどうかと考えています。これでかみさんの浪費癖を見直すきっかけになれば嬉しいのですが。

——今夜は非常に有意義な時間を本当にありがとうございました。これまで金融教育というと、継続していろいろなことを学べる場にしなければ、と大仰に考えていましたが、一年のうちのほんの一時間でもいい、という言葉に、まずは小さなことでもやってみよう、という想いになりました。岡本様や皆様が子ども向け、親子向けにセミナーなど開かれることがございましたら、ぜひお手伝いさせていただきたく、お声かけいただけましたら幸いです。

——岡本さんにとって、『投資教育家』という『生き方』が、未来を担う子供達へ、即ち、後世に『己が名跡』を残される事なのでは、と感じました。『世界中の子供達は、皆、世界中の大人達の子供である』。ありがとうございました。

——岡本先生の「世界の子供をみんな自分の子供にしてしまえばいいのだ！」との言葉に、子供のいない私は、脳天パンチされた衝撃でした。穏やかに鋭い！そして、深い！